

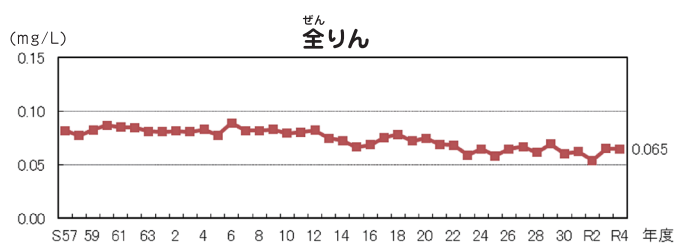
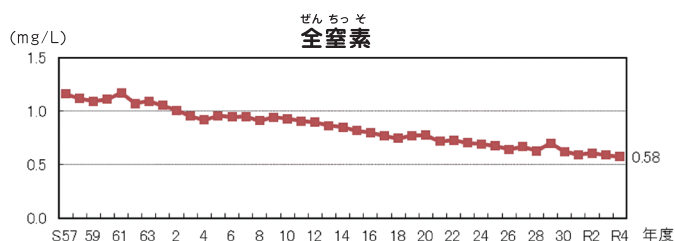
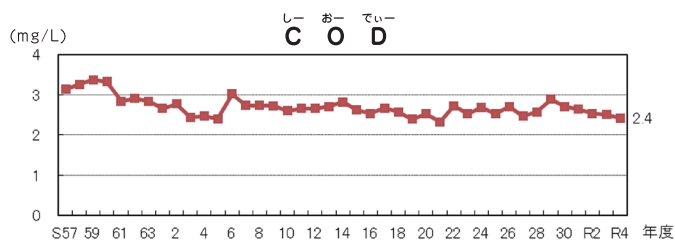
東京湾の水質

Q 東京湾の水はきれいになっているの？

A 水の汚れをあらわすものさしである化学的酸素要求量（COD）と、汚れの原因となり得る栄養塩類（窒素・りん）の経年変化をみてみましょう。

CODは、東京湾に流れ込む工場排水などの対策が進められ始めた昭和50年代から少し改善されたものの、大きくは変わっていません。これは、夏に海底付近が酸素不足（貧酸素状態）になることで、海底の泥から栄養塩類が溶け出し、それを栄養として植物プランクトンが増えるためと言われています。

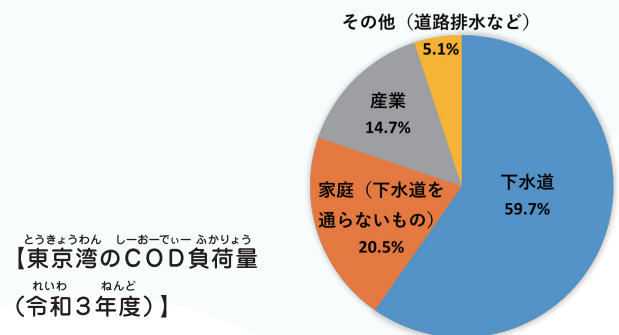
窒素は減少傾向が続いていますが、りんは近年横ばいです。



【COD、全窒素及び全りんの経年変化
（東京湾の環境基準点の測定値の平均）】

Q 東京湾の水質汚濁の主な原因は？

A 昭和40年代は、日本の高度経済成長期で工場からたくさんの汚れた水が東京湾に流れ込んでとても水質汚濁が進んでしまいましたが、法規制などにより工場からの汚れは減少して東京湾の水質も改善してきました。現在では、東京湾の水質汚濁の主な原因は、私たちの家庭排水です。



Q 夏に海が茶色に見えるのはなぜ？



【赤潮】東京都撮影

A 主に春から秋にかけて、富栄養化によりプランクトンが異常に増殖して海面の色が変わる現象を「赤潮」と呼びます。東京湾では赤褐色、黄褐色、緑褐色などに着色します。

プランクトンの中には、魚に対して有毒な種類もあり、そうしたプランクトンが増えた場合は、いけすで養殖されている魚が大量死する危険があります。